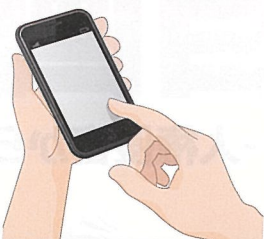


青少年の「自画撮り被害」

「自画撮り被害」とは

青少年がSNS等で知り合った人などから、脅されたり、騙されたりするなどして、スマートフォン等で自分の裸などを撮影して送付させられる被害を「自画撮り被害」といいます。



「自画撮り被害」の怖いところ

「自画撮り被害」は、一度ネット上に画像が流出するとその画像を完全に消し去ることは困難です。

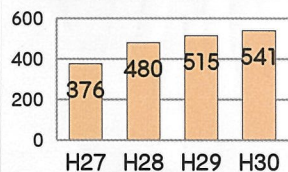
被害を受けた青少年は、将来にわたり、精神的苦痛を受け続ける可能性があります。

「自画撮り被害」の現状

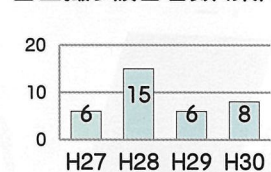
全国では、増加傾向にあり、中高生を中心に小学生の被害も確認されています。沖縄県内では、多い年で15名の被害が確認されており、平成30年は、中学生4名、高校生4名の被害がありました。



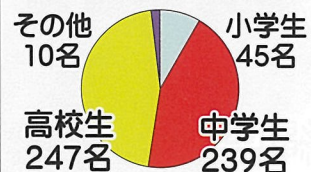
自画撮り被害者数(全国)



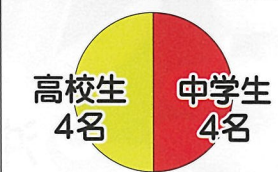
自画撮り被害者数(県内)



H30学年別被害者数(全国)



H30学年別被害者数(県内)



保護者の皆様へ

子どもを守るために！

相手の顔が見えないインターネットの世界には、子どもを狙う悪い人もいます。お子様にスマートフォンを持たせるときは、被害防止のため、年齢に応じたフィルタリングの設定と家庭のルールづくりをお願いします。



フィルタリングを設定しましょう

フィルタリングは、犯罪・薬物情報等のサイトへのアクセスを拒否したり、SNSの利用を制限したりすることができます。



【フィルタリングでできること】

- ・アダルト、犯罪・薬物情報サイト等へのアクセス拒否
 - ・利用時間の設定(午後9時まで等)
 - ・SNSの利用制限
- ※その他、詳細は携帯ショップに確認してください。

「家庭のルール」をつくりましょう



お子様が犯罪やトラブルに巻き込まれないよう、インターネットの危険性や、スマートフォン・ケータイ利用のマナーについて説明し、一緒に「家庭のルール」を作ることが大切です。

【「家庭のルール」の例】

- ・人が嫌がることは書き込まない
- ・食事中・勉強中は触らない
- ・フィルタリングは設定する
- ・SNSで知り合った人のことは親に知らせる



児童・生徒の皆様へ

絶対にダメ! 自画撮り!

断る! 送らない!

撮らない!



送った画像は消せない・・・

一度ネット上に画像が流出したら、完全に消し去ることはできません! 見られて困る写真は撮らないようにしましょう。

SNSで知り合った人を安易に信用しない!

顔が見えないSNS上には、良い人や同性になりすまして、悪いことを企む人がいます。安易に信用してはいけません。



誰であろうと要求されたら断る!

知らない人はもちろん、顔見知りでも裸や下着の写真を送ってはいけません。要求されたら毅然と断りましょう! あなたを大切にしている人は、あなたを困らせないはず。



要求されたら必ず相談!

裸や下着の写真を要求されたら、一人で悩まず、必ず家族や先生、又は相談電話・SOSメール等に相談してください。

